

# 風のたより

仙台青陵中等教育学校  
第2学年だより 第7号  
2023.8.1 HP掲載

## 夏休み活動中

夏休みになったある日の午前中に校内を歩くと、部活動に励む生徒以外に文化祭に向けての準備をしている生徒や図書室・自習室で学習している生徒たちが見られました。



この夏、2年生の皆さんはどのような日々を過ごしていますか？(→「やる気」へ)

# 「私の行き方発見」プログラム

このプログラムはパナソニック株式会社から提供されているキャリア教育プログラムです。10月に実施する職場体験の事前学習の一環として今回、パナソニック株式会社パナソニックマーケティングジャパン(株)の北海道・東北社企画部戦略企画課の桑名 優介様に講演いただきました。パナソニック株式会社を具体例とした会社の組織やそれぞれの役割、働くことの意義や目的、仕事で最も大切にしていること、今勉強していることが将来どのように役立つのかなどといったことを、パナソニック社員の皆様のアンケート結果から具体的にお話いただき、「15年後のなりたい自分」というテーマで自分の考えもまとめました。最後に「自分の今を大切にすることが未来につながる」というメッセージをいただきました。時間を過ぎても、質問する生徒もいて、大変刺激を受けた講演であったようです。



## 「やる気」

最近異なる媒体で同じ話を目にしたり、耳にしました。それによれば「やる気」というのは、実は気持ちよりも行動が先であるということらしい。何かを実行する時に、気持ちをつくってから行っているように感じるが、実はその気持ちよりも本当にわずかな時間ではあるが、行動が先に行っているという。また、脳科学者の茂木健一郎氏が「たとえば私の場合、この本のように原稿を執筆しようと決めたときは、とにかくパソコンをバツと立ち上げて、準備もしないですぐにトップスピードで書き始めます。そこには、『さあ、原稿を書くぞ！』といったやる気や、『あれをやって、これをして』といった心の準備をするという意識はまったくありません。どんな行動もまるで歯磨きでもするように、あれこれ考える前にパツとやってみる。完璧など求めずに、やり散らかしたっていいということです。大事なのは、自分が何か特別なことをやっていると思わないこと。特別なことをやっているを意識することで、脳が身構えてしまうからです。運氣アップまずは今すぐ、何かをやってみる。」(2023/07/24PRESIDENT Onlineより)。  
\* 下線筆者付記と書いています。この夏休みに、「やる気がなかなか出ない」と嘆いているのではなく、何も考えずに教科書、ノート、問題集を広げることをして欲しいものです。

青陵祭の準備に来ていた生徒に汚れていた階段の清掃をお願いしたところパツと動いて綺麗にしてくれました。こんなふうにすぐに動くことができるのは、2年生の特長である素直さがあるからでしょう。素直に聞いて、色々考える前に始めてしまい、学習を習慣にしてしまうことを期待しています。

この夏、数年ぶりに三者面談に携わる機会を得ました。短時間ではありましたが、日頃は聞くことができないような将来や夢の話なども伺うことができました。進路実現に向けて動き始めましょう。